

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 20 年 7 月 10 日 (2008.7.10)

【公表番号】特表 2007-537845 (P2007-537845A)
 【公表日】平成 19 年 12 月 27 日 (2007.12.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-050
 【出願番号】特願 2007-527535 (P2007-527535)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/00 5 1 1

A 6 1 F 9/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 5 月 16 日 (2008.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の老視を処置するレーザー眼外科システムであって、
 切除エネルギービームを放出するレーザー素子と、
 患者の第 1 の眼の角膜面を第 1 の切除形状となるように、さらに患者の第 2 の眼の角膜面を第 2 の切除形状となるように切除する切除エネルギービームを向けるためのレーザー素子に結合したプロセッサと、
 を含み、第 1 の切除形状は第 1 の眼の中央ゾーンを通して近くのものを見ることができるようにし、第 1 の切除形状は第 2 の眼の周囲ゾーンを通して近くのものを見ることができるようにする、ことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

プロセッサが、第 1 および第 2 の切除形状となるよう切除するためにレーザー素子に向ける切除形状モジュールを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

第 1 の切除形状の中央ゾーンが球状の面からなる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

第 1 の切除形状の中央ゾーンが多重焦点の非球面からなる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

第 1 の切除形状が中央ゾーン内に処置されていない小さな中央部分を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

第 1 の切除形状の中央ゾーンが、第 1 の眼の瞳の直径に合った直径をもつ、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

第 1 の切除形状の中央ゾーンが、0.5 から 4.0 ジオプトリの範囲の屈折力をもつ、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

第 1 の切除形状の中央ゾーンが、1.0 から 3.0 ジオプトリの範囲の屈折力をもつ、

請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

代 1 の切除形状の中央ゾーンが、1.75 ジオボトリの屈折力をもつ、請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 10】

第 1 の切除形状が遠くのものを見えるように周囲ゾーンを有する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 11】

第 1 の切除形状が遷移ゾーンを含み、

遷移ゾーンは、周囲ゾーンの外側境界から広がる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 12】

第 2 の切除形状が、遠くのものを見ることができるよう処理されていない中央ゾーンを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 13】

第 2 の切除形状が、患者が遠くのものを見ることができるよう形状付けられた中央ゾーンを含む、請求項 1 に記載のシステム。